

事務事業名	日登交流センター管理運営事業	所属部	木次総合センター	所属課	自治振興課	
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉	所属G	自治振興グループ	課長名	菅田和美
	施策名	〈01〉市民が主役のまちづくりの推進	担当者名	安部栄司	電話番号	0854-40-1080
	目的	対 象 市民			(内線)	4262
	意 図	まちづくりの課題を主体的に解決する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名	交流センター管理事業	
	基本事業名	〈003〉まちづくり活動の拠点整備	0 1 1 0 0 6	中事業	日登交流センター管理事業	
	目的	対 象 活動している市民				
	意 図	活動しやすい場所がある。	0 5 6 5 3 5	中事業	日登交流センター管理事業	

1 現状把握〔DO〕

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (22年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
当事業は、木次農村環境改善メインセンターの管理に係る事業である。 平成22年度からは日登交流センターとなり、地元の「地域自主組織 日登の郷」が指定管理者となっている。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	27年度実績(27年度に行った主な活動) 施設指定管理委託契約の締結	28年度計画(28年度に計画する主な活動) 平成27年度と同様		
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)
	ア 契約件数	件	1	1	1
	イ 修繕件数	件	1	0	3
	ウ				
	エ				

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	1 日登地区住民 2 雲南市民	ア 日登地区住民	人	1,635	1,645	1,647	
		イ 雲南市人口	人	40,055	39,472	38,990	
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
1 地域活動の活性化 市民の各種活動の場の提供 2 活動拠点の提供	ア 施設利用者	人	20,058.0	18,764.0	16,092.0		
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
指定管理料2,110千円 小規模修繕312千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円		362	
		一般財源	千円	3,417	2,110	2,422
		事業費計(A)	千円	3,417	2,472	2,422
	人件費	正規職員従事人数	人			
		延べ業務時間	時間			
		人件費計(B)	千円			
		トータルコスト(A)+(B)	千円	3,417	2,472	2,422

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
日登交流センターとして、地域コミュニティ施設としての利用が高い。体育館やグラウンドも隣接し、一体的に管理運営されている。平成27年度に老朽化した屋根を修繕するとともに、1階の会議室を改修した。	平成22年度から地元の地域自主組織へ施設指定管理委託を行った。	地域自主組織から指定管理料の見直し(増額)の要望が寄せられている。

事務事業名	日登交流センター管理運営事業	所属部	木次総合センター	所属課	自治振興課
-------	----------------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																								
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																									
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																									
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																								
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																									
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	地域内利用者が圧倒的に多く、施設利用率及び利用料収入を上げる余地はほとんどない。																							
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない																									
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	地域の拠点施設がなくなる。																						
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																									
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？																									
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由		地区内に類似施設が無いため、統廃合・連携ができない。																						
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)																									
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		指定管理者制度導入により削減余地が無い。																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？																									
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		指定管理に伴う業務時間は削減余地が無い。																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？																									
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		公共施設として誰でも利用できる施設である。																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																									
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																							
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		交流センター化に伴う指定管理者制度導入により、施設利用者数も増加し一定の成果が得られている。地域自主組織の取り組み次第で、更なる地域活性化の向上余地はある。																						
3 今後の方向性【PLAN】																										
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		●	×																						
	低下		×	×																						
引き続き地元の地域自主組織が指定管理者となって施設管理を行う。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																								